

昇龍道プロジェクトの 平成29年度活動方針



1. 昇龍道ミッション団・昇龍道大使の派遣等
2. 広域観光周遊ルートの形成の促進
3. 戦略的なプロモーションの推進
4. 受入環境整備の推進
5. 観光と交通の連携施策の推進
6. 関係者の参加・連携の一層の強化
7. その他

■ 昇龍道ミッション団を、9月頃タイへ派遣

＜背景＞ タイは、人口規模も大きく親日国でもあり、今後の訪日旅行の増加が期待される。昇龍道の多くの民間企業もタイへ進出している。昇龍道9県の重点市場調査において、いずれの県もタイを重視している。

＜関連事業＞ ・ メディア、旅行会社の招請(11月～12月)
・ タイの旅行博覧会(Thai International Travel Fair(TITF))への出展(2月)

■ 現地の実務者と顔の見える関係構築・維持を目的とする、昇龍道実務ミッション団を、次に掲げる旅行博覧会を候補にその前後に派遣

- ・ 上海 (上海世界旅行博覧会(WTF)、4月)
- ・ 香港 (香港国際旅遊展(ITE)、6月)
- ・ 台北 (台北国際旅行博(ITF)、11月)
- ・ ホーチミン(ジャパンフェスティバル、11月)
- ・ クアラルンプール (MATTA Fair、3月)
- ・ ジャカルタ (Astindo International Travel Fair(AITF)、3月)

■ 昇龍道大使の海外派遣と、積極的なプロモーション活動の検討

■ 4つのモデルコースを軸とした展開

- 昇龍道の観光ルートとして、国外・国内に強力に発信する
- 各コースのテーマに沿った、複数の観光資源の結びつけの強化と、コース上の受入環境の整備を進める
- 二次交通と連動したモデルコースの海外プロモーション事業を実施
- 市場のニーズを踏まえ、テーマ性を前面に打ち出した海外プロモーション事業を実施
 - ✓ Dragon Course ユネスコ無形文化遺産登録の「山・鉾・屋台行事」を活用し欧米へなど

■ データの分析に基づく事業展開

- 訪日外国人旅行者の移動経路、満足度、リピーター率等に関するデータの分析に基づく事業を通じ、モデルコースを骨太な動線に仕上げていく

■ 広域共通の観光テーマに係るコンテンツの充実

- 6つの広域共通の観光テーマに係る既存のコンテンツをブラッシュアップするとともに、新たなコンテンツづくりを行う

3. 戦略的なプロモーションの推進

■ マーケティング結果に基づいたプロモーションの展開

- 昇龍道を訪れる訪日外国人旅行者の移動経路(周遊実態)を踏まえた事業(出入国利用空港別アプローチ)
- 昇龍道における滞在日数を伸ばすため、長期滞在型の欧米市場の開拓と体験型メニューを取り入れた事業
- 昇龍道における消費の拡大に向け、富裕層をターゲットとする事業
- 国内外に昇龍道をさらに広めるため、イベント企画やデジタルコンテンツの活用

■ JNTOの中国における昇龍道重点ディステーション・キャンペーンと連動したプロモーションの展開

■ 昇龍道の平成30年度海外プロモーション方針については、中部9県の広域連携DMOのマーケティング結果に基づき策定する

4. 受入環境整備の推進

■ 訪日外国人旅行者の受入環境整備の推進

- 地方自治体等からの提案に基づき、
 - ✓ 訪日外国人旅行者の受入環境の整備(Wi-Fiの整備、人材育成、多言語のサイン・案内板の整備、ユニバーサルトイレの整備、ムスリム対応等)を推進する
 - ✓ 体験型滞在プログラムの開発・提供、着地型旅行商品の造成・販売促進を実施する
- 名古屋市を中心とする都市近郊の周遊利便性を高め、リピーター需要の喚起を目的に、昇龍道ウェルカムカードに公共交通機関が利用できる機能を付加する“トラベラーズパス(ICカード)”の導入に向けた実証事業を検討
- 昇龍道Wi-Fiプロジェクトの取り組み推進
 - ✓ 「周知・広報」「整備促進」「認証連携」の3つの活動方針のもと、無料Wi-Fi環境の充実に向け、昇龍道エリア一体となった取組みを推進する

■ 緊急対策事業の活用

- 観光庁の訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業を活用し、宿泊施設や鉄道駅などのインバウンド対応支援や観光拠点情報・交流施設、観光案内所などの受入環境を支援することにより、滞在時の快適性、観光地の魅力向上、観光地までの移動円滑化等を促進する

5. 観光と交通の連携施策の推進

■ 二次交通の充実及び利便性向上

- 訪日外国人旅行者にとって公共交通の利用しやすい環境の整備を図るため、新たなバス路線・企画きっぷ・観光列車等の導入の可能性を模索
- 中部国際空港の深夜到着便に合わせた必要な二次交通の確保を図ることを検討
- 名古屋市を中心とする都市近郊の周遊利便性を高めるため、昇龍道ウェルカムカードに公共交通機関が利用できる機能を付加する“トラベラーズパス”の導入を検討する(再掲)

■ 手ぶら観光の推進

- 平成28年度の実証事業を踏まえ、
 - ✓ 空港、駅、バスターミナル等における手ぶら観光カウンターの設置を推進する
 - ✓ 空港と観光地間、観光地と観光地間における手ぶら観光の促進を検討する

■ 昇龍道プロジェクト推進協議会の会員数の一層の増加

■ 国の出先機関の参加・連携の一層の強化

- 各省庁の支援ツール(施策)を最大限活用し、昇龍道プロジェクトを推進
 - ✓ 中名古屋国税局・金沢国税局： 昇龍道日本銘酒街道(酒税の免税制度開始に合わせた取組強化等)等
 - ✓ 中部経済産業局： 商店街によるインバウンド対応等の強化(参考1参照)
 - ✓ 中部地方整備局： 訪日外国人旅行者の受入に向けた環境整備(参考2参照)

など

■ 地方公共団体等の参加・連携の一層の強化

- 北陸・飛騨・信州3つ星街道観光協議会(北陸・飛騨・信州3つ星街道)、杉原千畝ルート推進協議会(杉原千畝ルート)等の広域連携組織との連携を強化
- 県、市町村、観光協会等の昇龍道プロジェクトの具体的な活動(広域観光周遊ルートの形成、海外プロモーション、昇龍道ミッション団、部会・分科会等)への参加・連携を促進
- 昇龍道の多言語ウェブサイトへのリンク貼りを促進

など

■ 民間企業等の参加・連携の一層の強化

- 二次交通の企画きっぷ(昇龍道高速バスきっぷ等)、商業施設が連携した訪日外国人旅行者向けガイドブック(NAGOYA NAVIGATOR等)、スマホ用観光アプリ(NAVIGATE SHORYUDO等)、Wi-Fi整備、ホテル建設のような、民間企業等による自主的な取組が実施しやすい環境づくり
- 「酒まつり」「ウルトラマラソン」などの民間企業等が主体となる事業において、昇龍道の知名度向上に資する取組への積極的な関わり
- 民間企業等の昇龍道プロジェクトの具体的な活動(広域観光周遊ルートの形成、海外プロモーション、昇龍道ミッション団、部会・分科会等)への参加・連携を促進
- 昇龍道の多言語ウェブサイトへのリンク貼りを促進 など

■ 昇龍道のサブブランド名の検討

- ・ 昇龍道を全世界に発信していくため、各市場(とりわけ欧米等の長期滞在が見込める市場)に受け入れやすい呼称(サブブランド名)の検討に着手

■ 中部/北陸のブロック戦略会議の活用

- ・ 観光ビジョン推進地方ブロック別戦略会議において取りまとめられる、訪日外国人旅行者を受け入れる上での地域毎に異なる課題の解決を図るとともに、地域の観光振興策を迅速に講じる

■ その他、昇龍道に対する理解の増進、訪日外国人旅行者の数や消費の増加等につながるあらゆる取組の可能性を模索

(参考1) 中部経済産業局 「域外からの誘客を通じた消費の拡大」 (昇龍道×商店街)

「商店街(商業)×観光」の組み合わせにより、地域を挙げてインバウンドを始め域外客を呼び込み、地域資源を活用した、工芸品や食、体験メニューなど、クールジャパン商品・サービスをもって、新たな需要の創出と消費拡大を図る。このため、商品・サービスの開発やショッピング環境の整備を始めとする「稼ぐ力」、「地域価値」の向上、「稼ぐ場」としての機能強化につながる各種活動(魅力づくり+ローカルブランディング)を支援。さらに、地域間連携を進め、広域での周遊・回遊性等を高めていく。

商店街×観光

ものづくり

商社

小売店

飲食店

サービス

宿泊

交通

観光

- 革新的なサービスの開発
- 小規模事業者の販路開拓



外国語パンフレットの作成

ものづくり補助金
持続化補助金

商店街(地域発クールジャパンのショーケース)

- 免税手続きカウンター設置や集客ツールの作成



- 地域産品を活かした飲食施設の整備



- リノベーションによる宿泊・飲食拠点の整備



- 通訳ガイドと巡る商店街体験ツアーの開発



インバウンド対応促進等集客力の向上を支援
(地域・まちなか商業活性化支援事業)

- サービス品質の「見える化」を通じた、国内外の顧客の獲得等



「おもてなし規格認証2017」をスタート!

- サービス業等の生産性向上に資するITツール導入

生産性向上IT導入支援事業

コンテンツ

クールジャパン(地域資源)商品・サービスの開発

体験観光

工芸品等

コンテンツの海外展開

- 日本のコンテンツの海外展開を通じた訪日観光等の促進



旅番組をローカライズし、海外で放送



知多半島を舞台とした旅番組制作及びタイを中心とする誘客プロモーション

JLOP事業
地域発コンテンツの広域発信支援事業

ふるさと名物(ものづくり、食、観光)の開発

- 地域資源の活用や農林漁業者との連携により行う、商品・サービスの開発や販路開拓



銅器と木製漆器を複合させた酒器等の製造・販売



「加質料理を提供する施設」を核にしたフードツーリズム事業



瀬戸焼でつくる招き猫を活用したインバウンド観光による販路開拓

ふるさと名物支援事業、ものづくり補助金

食

クールジャパン商材の海外展開

- デザイナーが日本の魅力ある商材の海外展開をプロデュース
- パリのショップにおけるテストマーケティング

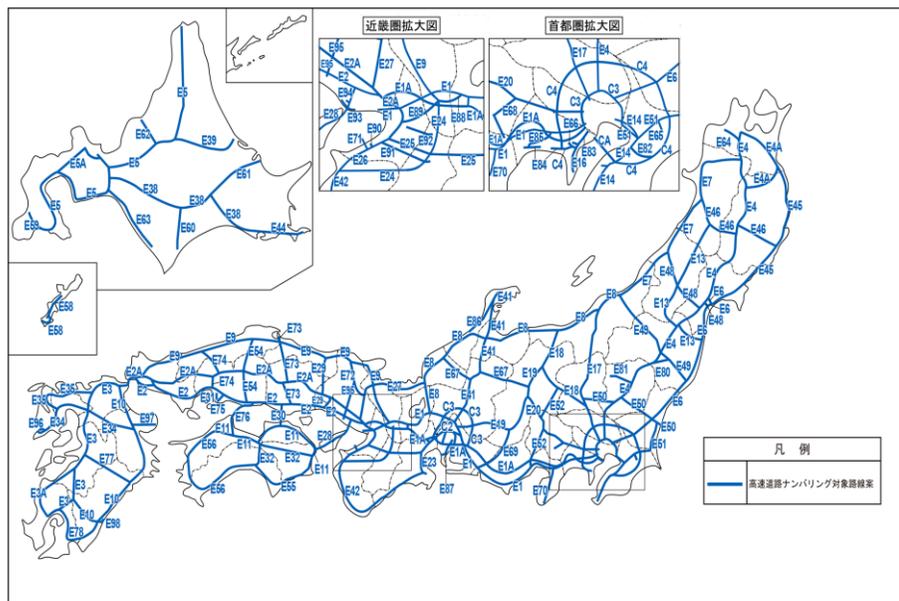


JAPANブランド育成支援
クールジャパン機構等

(参考2) 中部地方整備局のインバウンド関連の取組

高速道路におけるナンバリング

- ・ 高速道路ネットワークにおいて、路線名に併せ、その地固有の言語に依存しない「ナンバリング」を導入し、訪日外国人をはじめ、すべての利用者にわかりやすい道案内を実現
- ・ 必要な制度改正等について検討を進め、平成29年より標識整備に着手



レイアウトイメージ(高速道路)

- 【対象路線】
- ・ 高規格幹線道路網とこの道路網を補完して地域の高速ネットワークを形成する路線
 - ・ 高規格幹線道路網から主要な空港・港湾、観光地へのアクセスとなる高速ネットワーク

継続した取組

- ・ 平成28年度の活動状況にて紹介した取組について、引き続き平成29年度においても取組を継続していく。

○清水港におけるクルーズ船の受入環境整備

- ・ 多言語案内板やwi-fiの設置を進めるとともに、岸壁から市街地への回遊性の向上等を検討

○「道の駅」における受入環境整備

- ・ Wi-fi環境の整備を進めることで、「道の駅」における情報発信機能を向上させ、訪日観光の促進を図る。

○ミズベリングプロジェクトや国営公園での受入環境整備

- ・ 国営公園の各拠点でコミュニケーションボードの活用を検討するとともに、標識案内看板の多言語化の検討を行い、標識・案内看板の更新を行う。